

中学校技術・家庭 [家庭分野] 教授用資料

家庭

分野

新学習指導要領
の全面実施に
向けて



移行措置資料

現行教科書を使用した 年間指導計画と指導案

はじめに

新しい学習指導要領の全面実施が、令和3年度から始まります。現在は移行期間で、家庭分野は「全部又は一部について新中学校学習指導要領によることができる」（「小学校及び中学校の学習指導要領等に関する移行措置並びに移行期間中における学習指導等について（通知）」（平成29年7月）とされています。

新学習指導要領の全面実施を見通した指導計画を今から立てておくことで、全面実施時にスムーズに移行することができます。本資料ではその一歩として、新しい学習指導要領のポイントをおさえた年間指導計画と指導案について解説しています。

目次

- 年間指導計画…………… 2
- ①家庭の機能を扱うガイダンス…………… 4
 - ②蒸し調理を入れた調理計画…………… 5
 - ③衣服を再利用した製作…………… 6
 - ④金銭管理を入れた消費生活…………… 7
- 小学校家庭，中学校技術・家庭 家庭分野で育成を目指す資質・能力の系統表…………… 8
- 資質・能力や見方・考え方をふまえた指導計画例…………… 10

年間指導計画

家庭分野では、内容的には現行の学習指導要領から大きな違いはありませんが、現行の ABCD の4つの内容を「A 家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」の3つの内容に整理しています。また、各項目は、原則として「ア」基礎的な知識及び技能の習得及び「イ」思考力・判断力・表現力等の育成に関する指導事項として構成されています。

① ガイダンス(→p.4)

これまでと同様にガイダンスとして扱うとともに、家族・家庭生活の機能がBやCの学習内容と関連しており、生活の営みに係る見方・考え方に基づく学習の意義に気付かせることを意図しています。

家族・家庭・地域

自分の家庭や家族、周りの人に支えられて成長したことや家庭の機能を理解し、家族や地域の人々が互いに助け合い連携することで、健康・快適・安全で環境に配慮した家庭生活が営まれることが分かり、家族や地域の人々と協力・協働する必要があることに気付くことが求められています。

③衣生活(→p.6)

和服について触れるとともに、資源や環境に配慮した製作の一環として、衣服等の再利用の方法も扱います。

週時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18						
	家庭分野ガイダンス			A 家族・家庭生活																				
	1 わたしたちと家族・地域			2 健康と食生活			2 食品の選択と保存																	
	わたしの成長と家族・地域			①わたしたちと家族・家庭と地域			①食事の役割について考える			食品が食卓にのぼるまで														
	①家庭のはたらき			②わたしたちの家庭生活と地域			②生活習慣と食事			①新鮮食品と加工食品														
	2 幼児の生活と遊び			③わたしたちの家庭生活と地域			③中学生に必要な栄養			②食品の表示														
	①わたしの成長をたどる						④食品と栄養素			③新鮮食品と加工食品の表示														
										④食品の選択・購入と保存														
										⑤食品の安全と情報														
	授業時数		(1)		3		8						6											
	学習指導要領			A(1)ア			A(1)ア、(3)ア(イ)、イ			B(1)ア(ア)、(1)ア(イ)、(1)イ(2)ア(ア)、(2)ア(イ)、(2)イ						B(3)ア(ア)、C(2)ア								
	教科書該当頁			2～21		14～19		60～81						82～93										
	B 衣食住の生活 衣生活																							
	1 日常着の活用						2 日常着の手入れ						3 布を用いた物の製作											
	①自分らしくコーディネート						①衣服の汚れと手入れ						①製作しよう											
	②衣服のはたらき						②衣服の素材と手入れ																	
	③衣服の構成						③衣服の洗濯																	
	④衣服の入手計画と選び方						④衣服の収納・保管																	
							⑤衣服の補修																	
							環境に配慮した衣生活																	
	生活の課題と実践																							
	授業時数						8						2						8					
	学習指導要領						B(4)ア(ア)、(4)ア(イ)、(4)イ、C(2)ア、(2)イ						B(5)ア、(5)イ、C(2)ア、(2)イ											
	教科書該当頁						166～189						246～257						190～211					
	A 家族・家庭生活																							
	1 幼児の生活と遊び						2 幼児とのふれ合い						3 これからのわたしと家族											
	②幼児の体の発達						①ふれ合い体験の前に						①中学生と家族とのかがわり											
	③幼児の心の発達						②ふれ合い体験をする						②これからのわたしと家族との関係											
	④子どもの成長と地域						③ふれ合い体験のふり返り						世代を超えた人びとと交流して											
	⑤幼児の遊びと発達																							
	⑥幼児の遊びを支える																							
	授業時数						8						7						2.5					
	学習指導要領						A(2)ア(ア)、(2)ア(イ)						A(2)イ						A(3)ア(ア)(イ)、(3)イ					
	教科書該当頁						24～41						42～49						50～59					

生活の課題と実践

生活の科学的な理解を深めるための実践的・体験的な活動の充実が求められるとともに、「生活の課題と実践」はA B C相互に関連を図る問題解決的な学習として位置け、三項目のうち一以上を選択・実施することとなりました。

この構成変更をふまえ、目標（２）では「家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。」として学習過程が示されています。この過程に沿って指導事項ア・イを組み込み、家庭や地域での実践につなげるように学習の展開を工夫することが求められています。

これらの点に留意し、現在の指導計画にいくつかの内容を追加・修正することで、移行措置としての指導計画が出来上がります。

19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35		
B 衣食住の生活 食生活																		
3 調理をしよう										4 地域の食材と食文化								
①調理の計画 ②調理の基本 ③肉の調理 ④魚の調理 ⑤野菜の調理										①地域の食材と郷土料理 ②受け継がれる食文化							食生活と環境とのかわり	
13										2								
(2)イ B(3)ア(イ), (3)ア(ウ), (3)ア(エ), (3)イ										B(3)ア(エ)								
94 ~ 135										136 ~ 139								
B 衣食住の生活 住生活										C 消費生活・環境								
1 住まいのはたらき ①住まいの様々な役割 ②共に住まう 2 健康で安全な住まい ①家族の健康と室内環境 ②家庭内の安全 3 住まいと地域 ①災害への備え ②災害時の住まいと暮らし ③地域に配慮した住まい方これらの衣生活と環境										1 家庭生活と消費 ①消費生活のし 2 ぐみ商品の選択と購入 ①商品購入のプロセス ②生活情報の活用 3 ③購入方法と支払い方法 よりよい消費生活のために ④契約と消費生活トラブル							②消費者を支えるしくみ ③消費者の権利と責任 4 環境に配慮した消費生活 ④省ち取り組むエコ生活 ⑤地域や社会での協力 ⑥持続可能な社会	
7										6							4	
B(6)ア(ア), (6)ア(イ), (6)イ										C(1)ア(ア), (1)ア(イ), (1)イ,							C(2)ア, (2)イ	
148 ~ 165										212 ~ 227							228 ~ 245	

② 食生活(→p.5)

食文化や共食の意義を取り上げるとともに、食育の充実を図ることが求められています。また、調理加工の方法が明記され、蒸し調理が追加されました。和食の調理についても明記されています。

住生活

「A 家族・家庭生活」との関連を図り、自然災害に備えた安全な住空間の整え方について扱うことが求められています。

④ 消費生活・環境(→p.7)

消費者市民社会の担い手を育成するため、小中高の系統性を図り、「計画的な金銭管理」「売買契約の仕組み」「消費者被害の背景と対応」に関する内容が新設され、クレジットの三者間契約も扱うこととされました。また、消費生活が環境や社会に与える影響を考慮し、自立した消費者としての責任ある消費生活について、実践的に学習することが求められています。

高齢者など地域の人々との協働・介護など高齢者との関わり方

A(3)では、高齢者など地域の人々との協働について取り上げ、高齢者の身体の特徴に触れるとともに、高齢者と関わり協働するために、立ち上がりや歩行などの介助の方法について理解し、介護の基礎に関する体験的な活動を通して、実感できるよう留意することとされています。

①家庭の機能を扱うガイダンス

1. 学習の目標

自分の成長と家族のかかわりに関心を持ち、家族や家庭の機能を理解し、中学生が家族の一員として行える家庭の仕事や自分の課題に気づき、意欲をもって自立や共生する力を身に付けるために3年間の学習の見通しをもつ。

- ・自分の成長を振り返り、家庭や家族の機能を知り、生活に必要な知識や技術について理解する。(知識・技能)
- ・学習内容と自分の生活を関連させ、自身の課題に気づき3年間の学習の見通しをもつ。(思考力・判断力・表現力)
- ・自分の成長と家族や周りの人とのかかわりに関心を持ち、自立や共生することに意欲をもって学ぼうとする。(学びに向かう力・人間性)

2. 学習指導計画

(資質・能力欄の3観点は2019年時点の表現による)

	配当時間	学習活動	指導のポイント (○対話的◎主体的●深い学び)	教材・教具例	資質・能力
課題設定	1時間	ガイダンス 3学年間の学習を理解し、自分の生活と関連させ、自己の課題を設定する。 ・自分のできること、できないことをチェックし、自分自身のことを理解する。 ・ワークシートにこれからの自分の課題と目標を記入する。 ・生徒同士で発表し合い、課題の実現に向けての方法を考える。	小学校家庭科の学習を踏まえて、3学年間の学習と時間についてガイダンスを行う。 ◎自分のできること、できないことをチェックさせ、自分の生活を工夫改善できるよう、一人一人の課題と目標を立てさせる。 ○他の生徒と自分の目標を発表させ、質問や意見を出し合い、互いの課題と目標を実現するための方法を多方面から考えさせる。	プレゼン用ファイル (3学年間の家庭分野での実習の様子や製作物の写真等をまとめたもの) ワークシート (小学校の学習の振り返りができるもの)	自分の成長を振り返り、家庭や家族の機能を知り、生活に必要な知識や技術について理解する。 (知識・技能)
計画	1時間	・自分の成長を振り返り、家庭や家族の機能について理解し、自分ができることは何かを考える。 ・家庭生活に必要な知識や技術を家庭分野のどの時期にどう身に付けるかを知り学習の計画を立てる。	◎自分の家庭や家族、周りの人に支えられて成長したことに気づき、家庭の機能に触れ、これからの学習や生活に主体的に取り組む態度を養う。 ○グループ学習 生徒同士で、自分の気づきを話し合い、自分の目標や学び方に他者の意見を取り入れてより良く改善させる。	ガイダンス・3学年間のイメージできるワークシート『3年間を通してなりたい自分』(これからの学習をイメージできる図等も入れておく)	家庭分野の学習を生活と関連させ、これからの学習で自分の課題を設定し、3学年間の学習の見通しをもつ。 (思考力・判断力・表現力)
実践および評価・改善	※ ○時間	ガイダンスワークシートの記入と評価 ・3学年間で学ぶことがわかるイメージマップ『3年間を通してなりたい自分』に、毎回の学習で目標確認や振り返りをし、自己評価をして、その状況に応じ修正加筆して内容を改善していく。	学習指導要領 A(2)(3)の学習時に導入で扱う。 ●3学年間の学習に見通しをもち、 <u>※毎回の学習で課題を確認し、振り返る。</u> さらに生活の課題と実践などを通して学校以外の場面でも学んだことを活用できるようにする。	振り返りカードまたは自己評価票	自分の成長と家族や周りの人とのかかわりに関心を持ち、自立や共生することに意欲をもって学ぼうとする。 (学びに向かう力・人間性)

※注 (1年生～3年生の学習の中でその都度確認すると良い。)

②蒸し調理を入れた調理計画

1. 学習の目標

- ・栄養バランスのよい1食分の献立作成や段取りを工夫した手順表作成、用途に応じた食品の選択計画ができる。
- ・安全と衛生に留意し、食品や調理器具を適切に取扱い、食品の特質を考えた調理ができる。
- ・地域の食文化を理解し、和食の調理をこれからの食生活に活かそうとする。

2. 学習指導計画

(資質・能力欄の3観点は2019年時点の表現による)

	配当時間	学習内容と活動	指導上の留意点	教材・教具例	資質・能力
課題設定	2 時間	1.調理の意義を知り、それを満たす条件について考え、学習の目標や流れ、評価基準を知る。 「安全で衛生的な調理」とは何かを考える。 「環境に配慮した調理」とは何かを考える。 「手際の良い調理」とは何かを考える。 2.「五感とおいしさ」の関係について考える。	4～5人の調理班を編成する。5つの役割分担(班長・材料・用具・食器・整備)を説明し、係のローテーション表を完成させ、協働する意欲をもたせる。ヒントカードを見て調理の必要性について理解する。 調理写真を掲示し「安全」「衛生」「環境」「手際」の視点から実習の注意点に気付くようにする。 視覚・嗅覚・聴覚・触覚・味覚とおいしさの関係が確認できる体験を通して、五感とおいしさの関係を実感をもって学べるようにする。	プレゼンソフト 大型モニター ヒントカード 調理実習冊子 調理実習の写真 ①グミ試食 ②だしの試飲 ③盛りつけの違う写真 ④咀嚼する音の視聴 ⑤ゆで加減の違う野菜の試食	成長と心身の健康維持のための食事作りに取り組む意欲をもつ。 (学びに向かう力・人間性) 調理に必要な「安全」「衛生」「環境」「手際」「おいしさ」の条件を知る。 (知識・技能)
計画1	1 時間	3.「野菜の調理」の計画	自分の住む地域の食文化や地域の食材のよさに気づき、理解できるようにする。 手順表を基に自分の担当する作業を付箋に書き、計画表を作成させる。	手順表 計画表	安全でおいしく調理をするための工夫や時間の見通しをもった調理計画ができる。 (思考力・判断力・表現力)
実践および評価・改善1	3 時間	4.「包丁使いとだしの基本」 調理例：大根のみそ汁 大根を使ってかつらむきと織切りを体験する。 昆布と鰹節の混合だしの取り方を学ぶ。 5.「野菜の調理」 調理例：けんちん汁 野菜の扱いの注意点と切り方のコツを学ぶ。 6.「実習の振り返り1」 2回の実習を振り返り、よりよい調理実習の方法を見つけ出す。	小学校の学習を振り返りながら調理の基本を学ばせる。 地域による味噌汁の違いを知ることができるよう、グループで味噌を変え 飲み比べをさせる。 野菜の切り方の過程を実物大の写真で示すか、タブレットで確認できるようにする。 調理手順表や調味料分量表をマグネットで調理台に留めておくなど合理的な調理環境を整える。 2回の実習を「安全」「衛生」「環境」「手際」「おいしさ」の視点から振り返り、課題を洗い出し、次の実習の計画につなげさせる。	タブレット タイマー レシピ表 指示書 調理実習冊子 タブレット タイマー レシピ表 指示書 調理実習冊子 実習記録写真 またはビデオ 調理実習冊子	調理に必要な包丁使い、計量、調味、火加減の基礎を知り、適切に調理できる。 「おいしさ」と五感の関係を体感する。 (知識・技能) うま味の食文化や地域による食文化の違いを知る。 (知識・技能) 実習を振り返り課題を見つけ、次の調理に活かす方法を話し合い活動で深め、よりよい方法を見つける。 (思考力・判断力・表現力)
計画2	1 時間	7.「魚の調理」の計画 調理例：ムニエル 付け合わせ：マッシュポテト	材料に適した加熱の仕方に生徒が課題意識をもって調理に向かえるよう工夫する。 計画に沿って調理ができていくかを観察する。また、火加減・安全・衛生・環境・手際・おいしさへの配慮について助言する。	タブレット タイマー レシピ表 指示書 調理実習冊子	実習を振り返り課題を見つけ、次の調理に活かす方法を話し合い活動で深め、よりよい方法を見つける。 (思考力・判断力・表現力)
実践および評価・改善2	2 時間	8.「ムニエルの実習」 9.「実習の振り返り2」	各班で今まで習得した調理技能と「安全」「衛生」「環境」「手際」「おいしさ」が達成できたか検証させる。 生の魚・肉を扱う場合の衛生上の配慮ができていくか注意深く観察する。 各班で実習を振り返り、「学習の成果と課題」について報告させる。	実習記録写真 またはビデオ 調理実習冊子	食品の特質を知り、調理の要点を理解することができる。 (知識・技能) 「おいしさ」と五感の関係を体感する。 (知識・技能)
計画3	1 時間	10.「肉の調理」の計画 調理例：シュウマイ 付け合わせ：中華サラダ	魚料理か肉料理を主菜とした1食分の献立を立て1人で調理する手順を班ごとに検討し発表させる。	プレゼンソフト 大型モニター	豊かな食生活を送るために学んだことを活かそうとする。 (学びに向かう力・人間性)
実践および評価・改善3	3 時間	11.「シュウマイの実習」 12.「実習の振り返り3」 13.「調理実習のまとめ」			

③衣服を再利用した製作

1. 学習の目標

- ・衣服等の再利用の工夫（アップサイクル）を考え、製作計画を立てることができる。
- ・目的に応じた縫いや用具の安全な取り扱いを理解して製作ができる。
- ・自分の製作が自分や家族、地域の人々の生活を豊かにすることや資源や環境を守ることにつながることを実感し、これからのよりよい生活に活かそうとする。

2. 学習指導計画

（資質・能力欄の3観点は2019年時点の表現による）

	配当時間	学習活動	指導上の留意点	教材・教具例	資質・能力
課題設定	1.5時間	1.学習の目標と流れ、評価規準を知る。 2.「生活の豊かさ」とは何かを考える。 3.アップサイクルとは何か、アップサイクルのアイデア、材料、具体例等を調べて情報を共有する。	「グループを『会社』と仮定して、企画・製作したアップサイクル作品の『いいね!』の数の合計で会社を表彰する」というしかけをして、話し合い活動や製作に意欲を持たせる。 「生活の豊かさ」については、マインドマップに記入させる。学習の過程で随時追加の書き込みをさせ、変容をみとる。調べ学習はジグソー学習形式にして、タブレットを使用する。そのテーマは、教師が指定しておく。	ワークシート プレゼンソフト・大型モニター ジグソー学習 タブレット10台 タイマー	衣服等をアップサイクルして生活を豊かにする製作に意欲を持つ。 （学びに向かう力・人間性） アップサイクルに必要な材料、方法などを知る。 （知識・技能）
計画	1.5時間	4.製作のコンセプトを考える。 5.製作計画を立てる。 6.製作計画等をよりよくする話し合いをする。（企画会議） 7.製作計画を完成させる。	材料（古着等）を各自準備させる。材料が準備できない生徒もいるので、地域や家庭に協力を依頼し、ある程度の材料を用意しておく。 企画会議は、グループ全員の製作計画等がよりよくなるように、より多くの「いいね!」を目指して話し合いをさせる。	ワークシート デジカメ 話し合い活動 タイマー	アップサイクルの工夫や、時間の見直しをもった製作計画ができる。話し合い活動で考えを深めることができる。 （思考力・判断力・表現力）
実践および評価・改善	5時間	8.用具の安全な使用方法を確認する。 9.製作する。 10.プレゼンの準備をする。 11.プレゼンをする。「いいね!」・表彰 12.振り返りをする。	製作時間は3時間とする。 用具の安全な使い方は、示範、掲示物やDVDなどで確認させる。 プレゼンのリハーサルをさせる。 プレゼンはジグソー班で発表する。より多くの共有ができるようにメンバーを変えて2回プレゼンさせる。相互評価として「いいね!」シールを貼らせる。 自分の生活や社会に関連付けて学習の振り返りができるようにする。	裁ちばさみの使い方 示範 アイロンの使い方・ミシンの使い方の掲示物・DVD ワークシート 教科書 ジグソー班決めくじ 材料・作品の写真 プレゼン発表 「いいね!」シール（ドットシール） 表彰シール タイマー	時間内に、適切な方法で製作できる。用具を安全に使うことができる。 （知識・技能） 製作の目的や工夫点などをプレゼンできる。 （思考力・判断力・表現力） これからの生活に活かそうとする。 （学びに向かう力・人間性）

④金銭管理を入れた消費生活

1. 学習の目標

- ・多様化した購入方法や支払い方法の特徴が分かる。
- ・生活に必要な物資・サービスについての金銭の流れをつかみ、多様な支払い方法に応じた計画的な金銭管理の必要性を理解する。
- ・消費者被害が発生する背景、回避する方法、適切な対応の仕方について理解する。
- ・持続可能な社会の構築等の視点から情報を収集・整理し、物資・サービスの選択、購入方法、支払い方法を考え、工夫する。

2. 学習指導計画

(資質・能力欄の3観点は2019年時点の表現による)

	配当時間	学習活動	指導上の留意点	教材・教具例	資質・能力
課題設定	2時間	<p>家族が生活するために購入する物やサービスにはどのようなものがあるかを知る。</p> <p>グループごとに、課題の解決方法を考え、発表する。</p> <p>課題の解決方法を考えることを通して、支出にはニーズとウォンツがあることに気付く。</p>	<p>ある5人家族〔父・母・高2・中3・小6〕の1ヶ月の収入と支出の例を示す。この例をもとにして、(収入は増やせない) 以下のような課題をそれぞれのグループに1つずつ分担し、解決方法を考えさせる。</p> <p>課題 (例):</p> <p>①高2の子は、アーティストのコンサートにいきたい。</p> <p>②中3は、スマホがほしい。</p> <p>③小6は、ゲーム機がほしい。</p> <p>解決方法は何をどうするかと理由をはっきりさせる。</p>	<p>5人家族の収入と支出の表 ワークシート</p> <p>グループ学習 解決方法のワークシート</p>	<p>生活に必要な物資・サービスについての金銭の流れをつかみ、計画的な金銭管理の必要性を理解している。</p> <p>(知識・技能) 計画的な金銭管理の必要性を理解しようとしている。</p> <p>(学びに向かう力・人間性)</p>
計画	2時間	<p>「消費者アクションゲーム」で消費者トラブルを疑似体験しながら、具体的な解決方法を知る。</p> <p>ゲーム終了後、印象に残ったトラブルや解決法、疑問点等を発表する。</p>	<p>「消費者アクションゲーム」は、勝敗に拘らず消費者トラブルや被害を防ぐ方法を考え、ワークシートに記入しながらすすませる。</p> <p>発表を聞きながら、ワークシートに記入させる。ゲストティーチャーへの質問をまとめる。</p>	<p>グループ学習 消費者アクションゲーム</p> <p>グループ学習 ワークシート</p>	<p>多様化した購入方法や支払い方法の特徴を理解している。</p> <p>(知識・技能) 消費者被害発生背景、回避する方法、適切な対応の仕方を理解している。</p> <p>(知識・技能)</p>
実践および評価・改善	2時間	<p>消費生活センターの消費生活相談員等をゲストティーチャーとして招き、クレジットカードの仕組みや、トラブルの例、対処法等を具体的に学ぶ。</p> <p>これまでの学習をもとに家族や周りの大人と話し合ってきたことを発表し、交流、評価しあう。</p>	<p>前回のゲームで得た知識を実際の事例と繋げるようにする。対処法の例は、ロールプレイング等で学ぶ。これまで学習したことの中で、家族や周囲の大人に伝えたいことをまとめる。</p> <p>自分が伝えたかったこと、家族や周囲の大人がどのように反応してくれたかを発表させる。</p>	<p>消費生活相談員(ゲストティーチャー) ロールプレイング</p> <p>まとめのワークシート</p>	<p>持続可能な社会の構築等の視点から情報を収集・整理し、物資・サービスの選択、購入方法、支払い方法を考え、工夫しようとしている。</p> <p>(思考力・判断力・表現力)</p>

小学校家庭，中学校技術・家庭 家庭分野で 育成を目指す資質・能力の系統表

各内容で育成する資質・能力は学習指導要領解説に示されています。これをねらいとして、より具体的な題材の目標に落とし込んでいくとよいでしょう。各授業ですべての資質・能力を習得させる必要はなく、題材の学習を通して系統的に達成できるようにします。

	知識及び技能					思考力、判断力、表現力			
	A家族・家庭生活	B衣食住の生活			C消費生活・環境	A家族・家庭生活	B衣食住の生活		
		食生活	衣生活	住生活			食生活	衣生活	
小学校	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについての基礎的な理解と、それらに係る技能 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活と家族の大切さ、家族との協力についての基礎的な理解 家庭の仕事と生活時間についての基礎的な理解 家族との関わりについての基礎的な理解 地域の人々（幼児又は低学年の児童や高齢者など異なる世代の人々）との関わりについての基礎的な理解 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の役割についての基礎的な理解 調理の基礎についての基礎的な理解と技能 栄養を考えた食事についての基礎的な理解 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の主な働き 衣服の着用と手入れについての基礎的な理解と技能 布を用いた製作についての基礎的な理解と技能 	<ul style="list-style-type: none"> 住まいの主な働き 季節の変化に合わせた住まい方 住まいの整理・整頓や清掃の仕方についての基礎的な理解と技能 	<ul style="list-style-type: none"> 物や金銭の使い方と買物についての基礎的な理解と技能 環境に配慮した生活についての基礎的な理解 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中から問題を見だし、課題を設定し、課題を解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中から家族・家庭生活について問題を見だし、課題をもつて考え、解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中から衣生活について問題を見だし、課題をもつて考え、解決する力
中学校	<ul style="list-style-type: none"> 生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについての基礎的な理解と、それらに係る技能 	<ul style="list-style-type: none"> 家族・家庭の基本的な機能、家族や地域の人々との協力・協働についての基礎的な理解 家族関係、家庭生活と地域との関わりについての基礎的な理解 幼児の発達と生活、幼児の遊びの意義についての基礎的な理解 幼児や高齢者との関わり方についての基礎的な理解と技能 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の役割と中学生の栄養の特徴についての基礎的な理解 中学生に必要な栄養を満たす食事についての基礎的な理解 日常食の調理と地域の食文化についての基礎的な理解と技能 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服と社会生活との関わり、衣服の選択と着用、計画的な活用と手入れについての基礎的な理解と技能 布を用いた製作についての基礎的な理解と技能 	<ul style="list-style-type: none"> 住居の基本的な機能、家族の生活と住空間との関わり、家族の安全を考えた住空間の整え方についての基礎的な理解 	<ul style="list-style-type: none"> 金銭の管理と購入についての基礎的な理解と技能 消費者の権利と責任についての基礎的な理解 	<ul style="list-style-type: none"> 家族・家庭や地域における生活の中から問題をみだし、課題を設定し、これからの生活を展望して課題を解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> 家族・家庭や地域における生活の中から家族・家庭生活について問題を見だし、課題をもつて考え、解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> 家族・家庭や地域における生活の中から衣生活について問題を見だし、課題をもつて考え、解決する力

思考力、判断力、表現力		学びに向かう力、人間性等				
B衣食住の生活 住生活	C消費生活・環境	A家族・家庭生活	B衣食住の生活			C消費生活・環境
			食生活	衣生活	住生活	
日常生活の中から衣食住の生活について問題を見だし、課題をもつて考え、解決する力	日常生活の中から消費生活・環境について問題を見だし、課題をもつて考え、解決する力	家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度 家庭生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度 家族や地域の人々と関わり、協力しようとする態度	食生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度 食生活における日本の生活文化を大切にしようとする態度	衣生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度 衣生活における日本の生活文化を大切にしようとする態度	住生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度 住生活における日本の生活文化を大切にしようとする態度	身近な消費生活と環境をよりよくしようと工夫する実践的な態度
家庭や地域の生活の中から、安全な住まい方に関する問題を見だし、解決方法を検討・選択する力	家族・家庭や地域における生活の中から消費生活・環境について問題を見だし、課題をもつて考え、解決する力	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度 家庭生活を支える一員として生活をよりよくしようとしようとする態度 地域の人々と関わり、協働しようとする態度	食生活を工夫し創造しようとする実践的な態度 食生活における日本の生活文化を継承しようとする態度	衣生活を工夫し創造しようとする実践的な態度 衣生活における日本の生活文化を継承しようとする態度	住生活を工夫し創造しようとする実践的な態度 住生活における日本の生活文化を継承しようとする態度	身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度



生活の課題と実践		
A家族・家庭生活	B衣食住の生活	C消費生活・環境
日常生活の中から問題を見だし課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できること		
家族、幼児の生活又は地域の生活の中から問題を見だし課題を設定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践できること	食生活、衣生活、住生活の中から問題を見だし課題を設定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践できること	自分や家族の消費生活の中から問題を見だし課題を設定し、その解決に向けて環境に配慮した消費生活を考え、計画を立てて実践できること

資質・能力や見方・考え方を

必要な要素を表形式でまとめることで、漏れのない指導計画を立てることができ

A 家族・家庭生活

時数	指導項目	学習内容（教科書の中項目）	育成すべき資質・能力
2	自分の成長と家族・家庭生活	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の基本的な機能、家族や地域の人々との協力・協働についての基礎的な理解。 ・家族関係、家庭生活と地域との関わりについての基礎的な理解。 ・家族・家庭や地域における生活の中から家族・家庭生活についての問題を見だし、課題をもって考え、解決する力。 ・家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度。 ・家庭生活を支える一員として生活をよりよくしようとする態度。 ・地域の人々と関わり、協働しようとする態度。
3		1 わたしの成長と家族・地域 ① 家庭のはたらき ② わたしたちと家族・家庭と地域 ③ わたしたちの家庭生活と地域	
8	幼児の生活と家族	2 幼児の生活と遊び ② 幼児の体の発達 ③ 幼児の心の発達 ④ 幼児の心身の発達と家族の役割 ⑤ 子どもの成長と地域 ⑥ 幼児の遊びと発達 ⑦ 幼児の遊びを支える	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、幼児の生活又は地域の生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践できること。
7		3 幼児とのふれ合い ① ふれ合い体験の前に ② ふれ合い体験をする ③ ふれ合い体験のふり返り	
2.5	家族・家庭や地域とのかかわり	4 これからのわたしと家族 ① 中学生と家族とのかかわり ② これからのわたしと家族との関係世代を超えた人びとと交流して	
(2)*	家族・家庭生活についての課題と実践		

※課題の設定と実践後の評価に充当する時数。実践字数を除く（以下同）。

B 衣食住の生活 食生活

時数	指導項目	学習内容（教科書の中項目）	育成すべき資質・能力
8	食事の役割と中学生の栄養の特徴	1 健康と食生活 ① 食事の役割について考える ② 生活習慣と食事 ③ 中学生に必要な栄養 ④ 食品と栄養素	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割と中学生の栄養の特徴についての理解。 ・中学生に必要な栄養を満たす食事についての基礎的な理解。 ・日常食の調理と地域の食文化についての基礎的な理解と技能。 ・家族・家庭や地域における生活の中から食生活についての問題を見だし、課題をもって考え、解決する力。

ふまえた指導計画例

ます。ここでは、新しい学習指導要領に沿った順序でまとめています。

(「生活の課題と実践」は、3学年で1項目以上を選択・実施する。)

働かせる見方・考え方	評価規準
<ul style="list-style-type: none"> ・協力・協働 ・健康・快適・安全 ・生活文化の継承・創造 ・持続可能な社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりがわかり、家族・家庭の基本的な機能について理解しているとともに、家族や地域の人びとと協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。
<ul style="list-style-type: none"> ・協力・協働 	
<ul style="list-style-type: none"> ・協力・協働 ・健康・快適・安全 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達と生活の特徴がわかり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。 ・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・家族や地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し想像し、実践しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・協力・協働 ・健康・快適・安全 	
<ul style="list-style-type: none"> ・協力・協働 ・持続可能な社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人びとと協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。 ・家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人びとと関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解説する力を身に付けている。 ・家族や地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・協力・協働 ・健康・快適・安全 ・生活文化の継承・創造 ・持続可能な社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、幼児の生活又は地域の生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族、幼児の生活又は地域の生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。

働かせる見方・考え方	評価規準
<ul style="list-style-type: none"> ・健康・快適・安全 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ・中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。 ・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・よりよい生活の実現に向けて、食事の役割と中学生の栄養の特徴について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し想像し、実践しようとしている。 ・栄養素の種類と働きがわかり、食品の栄養的な特質について理解している。

時数	指導項目	学習内容（教科書の中項目）	育成すべき資質・能力
	中学生に必要な栄養を満たす食事		<ul style="list-style-type: none"> ・食生活を工夫し創造しようとする実践的な態度。 ・食生活における日本の生活文化を継承しようとする態度。
6	日常食の調理と地域の食文化	2 食品の選択と保存 食品が食卓にのぼるまで ①生鮮食品と加工食品 ②食品の表示 生鮮食品と加工食品の表示 ③食品の選択・購入と保存 ④食品の安全と情報	
13		3 調理をしよう ①調理の計画 ②調理の基本 ③肉の調理 ④魚の調理 ⑤野菜の調理 4 地域の食材と食文化 ① 地域の食材と郷土料理 ② 受け継がれる食文化	
2		食生活と環境とのかかわり	
(2)*	食生活についての課題と実践		<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践できること。

B 衣食住の生活 衣生活

時数	指導項目	学習内容（教科書の中項目）	育成すべき資質・能力
8	衣服の選択と手入れ	1 日常着の活用 ① 自分らしくコーディネート ②衣服のはたらき ③衣服の構成 ④衣服の入手計画と選び方 2 日常着の手入れ ①衣服の汚れと手入れ ②衣服の素材と手入れ ③衣服の洗濯 ④衣服の収納・保管 ⑤衣服の補修 環境に配慮した衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択と着用、計画的な活用と手入れについての基礎的な理解と技能。 ・布を用いた製作についての基礎的な理解と技能 ・家族・家庭や地域における生活の中から衣生活についての問題を見だし、課題をもって考え、解決する力。 ・衣生活を工夫し創造しようとする実践的な態度 ・衣生活における日本の生活文化を継承しようとする態度
8	生活を豊かにするための布を用いた製作	3 布を用いた物の製作 ①製作しよう	

働かせる見方・考え方	評価規準
<ul style="list-style-type: none"> 健康・快適・安全 	<ul style="list-style-type: none"> 中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり1日分の方法について理解している。 中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> 健康・快適・安全 生活文化の継承・創造 持続可能な社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。 食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組む、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> 健康・快適・安全 生活文化の継承・創造 持続可能な社会の構築 	
<ul style="list-style-type: none"> 健康・快適・安全 生活文化の継承・創造 	
<ul style="list-style-type: none"> 協力・協働 健康・快適・安全 生活文化の継承・創造 持続可能な社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 食生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。

働かせる見方・考え方	評価規準
<ul style="list-style-type: none"> 健康・快適・安全 生活文化の継承・創造 持続可能な社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> 協力・協働 健康・快適・安全 生活文化の継承・創造 持続可能な社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。

時数	指導項目	学習内容(教科書の中項目)	育成すべき資質・能力
(2)*	衣生活についての課題と実践		<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践できること。

B 衣食住の生活 住生活

時数	指導項目	学習内容(教科書の中項目)	育成すべき資質・能力
7	住居の機能と安全な住まい方	1 住まいのはたらき ①住まいの様々な役割 ②共に住まう 2 健康で安全な住まい ①家族の健康と室内環境 ②家庭内の安全 3 住まいと地域 ①災害への備え ②災害時の住まいと暮らし ③地域に配慮した住まい方 これからの衣生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の生活と住空間との関わりについての理解。 ・家族の安全を考えた住空間の整え方についての基礎的な理解。 ・家族・家庭や地域における生活の中から住生活についての問題を見だし、課題をもって考え、解決する力。 ・住生活を工夫し創造しようとする実践的な態度。 ・住生活における日本の生活文化を継承しようとする態度。
(2)*	住生活についての課題と実践		<ul style="list-style-type: none"> ・住生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践できること。

C 消費生活・環境

時数	指導項目	学習内容(教科書の中項目)	育成すべき資質・能力
6	金銭の管理と購入	1 家庭生活と消費 ①消費生活のしくみ 2 商品の選択と購入 ①商品購入のプロセス ②生活情報の活用 ③購入方法と支払い方法 3 よりよい消費生活のために ①契約と消費生活トラブル	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭の管理と購入についての基礎的な理解と技能。 ・消費者の権利と責任についての基礎的な理解。 ・家族・家庭や地域における生活の中から消費生活・環境についての問題を見だし、課題をもって考え、解決する力。 ・身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度。
4	消費者の権利と責任	②消費者を支えるしくみ ③消費者の権利と責任 4 環境に配慮した消費生活 ①自ら取り組むエコ生活 ②地域や社会での協力 ③持続可能な社会	
(2)*	消費生活・環境についての課題と実践		<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践できること。

働かせる見方・考え方	評価規準
<ul style="list-style-type: none"> ・協力・協働 ・健康・快適・安全 ・生活文化の継承・創造 ・持続可能な社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、衣生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。

働かせる見方・考え方	評価規準
<ul style="list-style-type: none"> ・協力・協働 ・健康・快適・安全 ・生活文化の継承・創造 ・持続可能な社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・協力・協働 ・健康・快適・安全 ・生活文化の継承・創造 ・持続可能な社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・住生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。

働かせる見方・考え方	評価規準
<ul style="list-style-type: none"> ・協力・協働 ・持続可能な社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・物資・購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・協力・協働 ・持続可能な社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 ・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・協力・協働 ・健康・快適・安全 ・生活文化の継承・創造 ・持続可能な社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、自分や家族の消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、工夫・創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。

開隆堂の新品のご案内

環境教育・英語教育で使える
アクティブ・ラーニング教材

遊びながら学ぶ 省エネ行動トランプ

Fun to learn with this "Eco Action Card Game"!



地球温暖化問題は待った無し。
各家庭での省エネ・CO₂削減が求められています。
住宅や設備の省エネ機能の向上と合わせ、
省エネ行動によるエネルギー使用量削減効果が期待されています。
このトランプは、ゲーミングシミュレーションの手法を用いて
省エネ行動の学習ができるツールとして開発されました。

省エネ行動トランプ

サイズ:縦89mm、横57mm
♠キッチン、♥リビング、♦バスルーム、♣ライフスタイル
💰節約金額、🌱CO₂削減量
価格:1,500円(税別)

【監修】慶應義塾大学 教授 杉浦淳吉
【制作】暮らし創造研究会
【発行】開隆堂出版株式会社
<https://www.kairyudo.co.jp/>



開隆堂出版株式会社

本社 〒113-8608 東京都文京区向丘 1-13-1 ☎03(5684)6111

北海道支社 〒060-0061
東北支社 〒983-0852
名古屋支社 〒464-0802
大阪支社 〒550-0013
九州支社 〒810-0075

札幌市中央区南一条西6丁目11番地 札幌北辰ビル8階 ☎011(231)0403
仙台市宮城野区榴岡4-3-10 仙台TBビル4階 ☎022(742)1213
名古屋市千種区星が丘元町14-4 星ヶ丘プラザビル6階 ☎052(789)1741
大阪市西区新町2-10-16 ☎06(6531)5782
福岡市中央区港2-1-5 FYCビル3階 ☎092(733)0174